

鯖江市議会・市民創世会

大門よしかずレポート



鯖江市新横江1丁目7-22 TEL/FAX(0778)52-7488 携帯090-6810-2462



8月5日の日野川大増水(有定橋左岸より)

ごあいさつ

日ごとに寒さに向かうこの頃です。皆様におかれましては、ご健勝のことと拝察いたします。

さて、8月5日に南越前町今庄を襲った記録的大雨は降り始めから約427mmに達し、鹿蒜川が氾濫し、大きな被害を出しました。

鯖江市を流れる日野川も水嵩が急激に高まり、氾濫危険水位を上回りました。市内数か所で堤防からの漏水が見られ緊張感が一気に広がりました。

幸い市内では大きな被害を出すことはありませんでしたが、地球温暖化に伴う度々の線状降水帯による大雨被害に、これからどのように対応すべきか大きな課題を突き付けられています。

次に、新型コロナウイルスですが、国内発生から3年半以上経ちますが、いまだに終息に至っていません。予防ワクチンの4回目接種もかなり進み、オミクロン株対応の接種も始まっています。感染者数の減少を見て、福井県では10月1日から従来の警報を注意報に緩和し、社会生活や経済の回復に力を注いでいきます。懸念される第8波が訪れることが無いよう祈るばかりです。ひきつづき、気を緩めることなく、基本的な対策を講じながら、コロナ禍以前の日常が少しでも早く戻るよう願わずにはられません。

(原稿作成時と状況が違っている場合があります。あしからずご了承ください。)

9月議会一般質問より

(鯖江市のHPで録画の配信を行っています)

神明苑のこれからについて

私は6月議会に引き続き神明苑を当面存続すべき。という立場で質問させていただきました。

その主張の土台となる部分は、6月議会でも主張した通り、市の公共施設等総合計画および個別施設計画。さらにSDGsやゼロカーボンシティ宣言など、市の施策との整合性。また、北陸新幹線県内開通。団塊世代の後期高齢者対策という社会情勢への対応。という観点からです。



(Q) 市民の声に耳を傾け対話をしてきたか

今議会の提案理由説明で市長は「私はこれまで機会あるごとに、「市民力」が本市の最大の魅力であるとともに宝であり、これからのまちづくりは、市民の皆様の声に耳を傾け、対話を大切にし、共に考え、共に汗を流しながら進めていきたいと申し上げてまいりました」と述べました。

さらに「私は職員に対しましても、日頃から市民や事業者などの皆様の声に真摯に耳を傾け…」と述べています。

今回の、神明苑の突然の閉苑方針の通告を思うと、市民や議会の声を十分聞く前に方針を出してしまった。そのため反対運動も署名活動も始まったのではないのでしょうか。市民や議会に配慮した説明の仕方ができていなかった結果と



今後のあり方が議論されている神明苑

言えるでしょう。

「閉苑」という寝耳に水のような方針提示に、市民有志による神明苑存続の署名運動が素早く立ち上がり、活動が展開されました。多くの関係者が、連日猛暑もいとわずショッピングセンターの玄関口に立ち署名を訴えかけました。そして1万3千筆余りの署名を集めました。さらに、あと1万筆を目標に活動を続けています。想像以上の大変な努力です。

いみじくも今回、市長が「鯖江の宝」と高く評価した「市民力」が大いに発揮されたわけです。このことに対し市長は大いに評価すべきではなかったでしょうか。

市の施設にこれほどの愛着を示し、それを残して欲しい願う市民に、市長はむしろ感謝を表明すべきではなかったか。と私は思います。市の大切な財産である神明苑閉苑の方針を出すに当たり、指定管理者や議会と十分に話し合ったと言えるのでしょうか。

(A) (市長) できる限り早い段階で神明苑に対する市の考え方を伝えるため議会に対し、会派をはじめ議員個人にご説明をしました。そして、指定管理者に対しては、募集を行わないことを説明しました。市民の皆様には、市民説明会の開催や区長会連合会、そして神明地区区長会などに、これまでの経緯の説明や現場視察などを行っていただきました。

ただ、新しい施設の概要等がお示しできていなかった状態での説明会でしたので、対話としては十分でなかったという理解はしています。

今後は、今月(9月)20日に開催を予定しています神明苑外部検討委員会の皆様にご協議をいただいた後に、市民や利用者の皆さんに対する説明会を開催し、対話を図っていき考えています。

意見 閉苑という方針を出す前にどうして議会や市民と話し合いをしなかったのでしょうか。方針を出した後から説明して歩いている。それは順番が違うと思います。最初からボタンの掛け違いです。

(Q) 温浴施設は残すべき

神明苑は、電車とバスの便に恵まれています。電車は最寄りの神明駅に平日、上下合わせて103便。つつじバスは循環線、神明線、立待線、吉川線、片上・中河線が乗り入れています。平日は43便ものバスが入ってきます。免許返納した高齢者、車を持たない高齢者にとって県内を見回しても、ここほど公共交通に恵まれた温浴施設はありません。さらに、ご高齢の方たちにとって健康維持のための温浴施設



つつじバスの多くの路線が乗り入れしている神明苑

は、非常に重要な施設です。また、災害時に入浴施設を備えた避難所としての重要性は、今さら語る必要はありません。温浴施設を残してほしいという市民の切なる要望にどのように応えていくつもりなのか。

(A) 今の源泉は、井戸の機能低下が著しく、温泉を汲み上げている配管やパイプも劣化しています。また、温泉流入量も毎分4~5リットルと少なく、また、温度も21.4度と温泉の基準を下回っています。成分は1つの項目だけが温泉法の基準に適合するという検査結果でした。それを踏まえ今の源泉での温浴施設の維持は困難であると判断しています。

しかし、温泉という市が所有している資産の活用については今後、外部検討委員会の委員の皆様にご意見をお聞きしながら協議していきたいと考えています。

意見 温泉水は現在、営業に差し障りのない程度には出ています。しかし、管が古いのは事実です。仮に止まるようなら水道水で対応するか、敷地内に新たな井戸を掘るかなどの対策を今から考えてもいいのではないのでしょうか。

(Q) 体育館の今後について

附属体育館はまだ築後36年です。個別施設計画での劣化度評価では、屋上屋根のみC判定、他は全てB判定となっています。今、急いで取り壊すほど老朽化していないと判定しています。



ジムやスポーツ教室、学童保育などの機能を備える体育館

また、この体育館はスポーツジム、各種スポーツ教室、学童保育、そしてとうふ工場の事務所や休憩室までも併設しています。体育施設が併設されている温泉付宿泊施設という点が、まさに一般のホテルにはない神明苑の強みです。学生のスポーツクラブ合宿、各種の全国的な大会の宿泊施設としてまさにうってつけと言えます。今の時点での体育館の方針とは。

(A) 神明苑の在り方の検討を進め始めた段階より、神明苑本体と併せて体育館を取り壊すか否か検討してきました。市民説明会での意見等も踏まえ、内部検討会で体育館の継続について議論も進めてきました。今後、外部検討委員会にお諮りをしたいと考えています。

解説 9月20日に開かれた外部検討委員会では、体育館は現施設を改修して継続使用するという、内部検討委員会の原案が了承されマスコミ報道されました。



(Q) 鯖江市政に関する市民アンケートの結果について

鯖江市政に関する市民アンケートは「閉園」や「リニューアル」という言葉は使わず、素直な問いかけになっています。ただ、施設本体の老朽化が著しいという表現は、印象操作になっていると思います。「施設本体の老朽化が進んでいるところもあります」という表現が適切だと思います。

「神明の今後の機能について」の結果だけお知らせ願います。

(A) 数字だけ申し上げさせていただきます。まず1番の子育て施設が96人、2番の健康増進の施設が74人、3番の多目的ホールが50人、4番の交流憩いの場となる施設が156人、5番の公園が56人、6番の高齢者、障がい者等の福祉施設が104人、7番のスポーツ施設が91人、8番の入浴施設が201人、9番の文化施設が25人、その他が18人という結果でした。

意見 1番の子育て施設、5番の公園、9番の文化施設以外は神明苑が備えている機能です。特に入浴施設への希望が一番多く、市民がこの施設を残して有効に活用していただきたいという要望が表れています。



(Q) 来年4月以降の運営方法は

「広報さばえ」には「現状のままでは、次の5年間、安定的な施設維持が見通せないことから新たな指定管理者の公募

は見送ることにしました」と記載されています。来年4月以降は閉苑か一時的休苑か、それとも指定管理でない運営方法を検討しているのか。

(A) 第2回内部検討会にて現施設の存続も含めた上で、地域住民の健康や集いの場である神明苑の今後の整備テーマの検討、および指定管理が終了する令和5年4月以降の営業方針について協議し、方向性を取りまとめました。

今後は、外部検討委員会にお諮りし、10月末から11月上旬には検討委員会としての意見を取りまとめていただくよう考えています。

解説 外部検討委員会にて、来年4月以降一年間、本館は宿泊と食事・宴会を除いた現状の温浴施設とサウナのみ営業するという方針を了承した。とマスコミ報道されました。食事や宿泊のない神明苑では法事も宴会もできません。まるで銭湯です。施設としての魅力も活気も半減し、利用者減少に拍車がかかるのは目に見えています。



人気の日替わりランチ(平日のみ。メニューの一例です)

(Q) 市民の声を聞くつもりがあるか

佐々木市長は「市民の皆様との対話を大切にし、市民の皆様が目線で市政に取り組みます」と公約しています。市民の声を聞くというなら、存続を希望する市民の声を聞くべきです。市長として誠意を持って市民の声を聞くつもりがあるのか。

(A) (市長) 私は様々なイベントや行事、会合等に積極的に参加し、意見交換、情報交換をさせていただいています。今回、外部検討委員会に幅広い年齢層の市民公募を入れたのも、存続を希望する方を含め、広く市民の声を伺いたいという姿勢の一つです。

また、外部検討委員会において一定の方向性が出された後に、市民説明会や利用者説明会も開催場所とか時間帯なども考慮して開催させていただきます。



「三六温泉神明苑」存続に関する陳情

「三六温泉神明苑の存続を求める会」より現施設の存続を希望する陳情書が提出されました。

(要旨)

現在、鯖江市の意向により「三六温泉神明苑」を閉苑する方向で検討がなされています。皆様ご承知のとおり「三六温泉神明苑」は、市民の健康福祉、交流の拠点であり、無くてはならない施設であります。2007年7月より鯖江市の施設として営業を続けている「三六温泉神明苑」は交通アクセスも良好であり、日帰り入浴、宿泊、宴会等のお食事、体育館棟など、多方向で市民の憩いの場として愛されております。現施設の状態で「三六温泉神明苑」を存続するよう強く求めます。

賛成の立場で討論に立ちました(発言の抜粋)

「閉苑」という寝耳に水のような方針提示に、市民有志による神明苑存続の署名運動が素早く立ち上がり、活動が展開されました。多くの関係者が、連日猛暑もいとわずショッピングセンターの玄関口に立ち署名を訴えかけました。そして1万3千筆余りの署名を集めました。さらに、あと1万筆を目標に活動を続けています。神明苑の存続を願う市民は、必要な改修は施しながらも、現在の機能は残して欲しいと願っています。



ショッピングセンター前での署名活動(10月15日)

健康長寿のまちさばえを標榜するなら、近年のコロナ禍で運営経費が高んだからといって、閉苑などという方針が出されたこと自体理解できません。福祉は損益で語るものではありません。これでは議会軽視、市民軽視と言わざるを得ません。

一昨日の外部検討委員会にて、令和5年4月以降は、温泉とサウナは継続する方針を示しましたが、宿泊、宴会、食事は休止するとのこと。これでは神明苑としての魅力は半減し、客離れが促進されます。食事も宿泊も継続すべきです。体育館については改修し活用するとのことですが、本館は改修または改築、双方で検討。となっています。しかし、

機能の大幅な変更を提案してきています。温浴施設の確約はありません。

神明苑を存続すべき、という根拠をいくつか申し上げます。まず一点目として、交通インフラの整備があります。2024年春には北陸新幹線県内延伸が実現します。県や市町は100年に1度のチャンスと観光客誘致に知恵を絞り、施設整備に力を入れています。このチャンスに観光の拠点となる宿泊施設を閉じるという後ろ向きな選択が理解できません。

二点目は、これまでの整備費を無駄にはいけない。という点です。神明苑は平成20年から令和3年までに3億円余の整備費がつき込まれました。またここ5年間では約1億7千万の整備費がつき込まれています。国の補助金で整備しながら、十分活用しないまま閉苑では税金の無駄遣いのそりを免れません。

三点目は、鯖江市の基本施策との整合性です。公共施設個別施設計画では「標準的な耐用年数である60年を基本としつつ、計画的な保全に取り組むことにより、80年を目標に長期使用を図っていくこととします」とあります。つまり、まずは築後60年を目指すべきです。さらに、鯖江市はゼロカーボンシティを宣言しています。ならば解体、新施設建築という大量のCO2を排出する施策は見直すべきです。

四点目は、高齢者対策です。2025年からは団塊の世代が後期高齢者になります。ご高齢の方が急に増えます。この方たちに健康増進と憩いの場を提供することは、自治体にとって大変重要な施策です。つまり、これからの10年が神明苑にとって大変重要な時期といえます。

神明苑は電車とバスの便に恵まれています。ここほど公共交通に恵まれた温浴施設はありません。また、災害時に入浴施設を備えた避難所としての重要性は今さら語る必要もありません。

五点目は「鯖江市政に関するアンケート」の結果です。この結果からも、現在の神明苑が持っている機能、特に温浴施設を望む声が多いことが分かります。温泉の機能維持が難しいというなら、敷地内に新たな井戸を掘ることを検討すべきではないでしょうか。

最後に市民の声です。先に触れましたが、存続を望む署名が1万3千筆余り提出されています。これがどれほどの重みなのか市長は感じるべきです。

●本陳情は本会議におき賛成多数で採択されました

あとがき 今回も神明苑存続について取り上げました。お知らせしたい内容が沢山ありすぎて、この紙面には収まり切れません。かなりの部分を割愛せざるをえなかった事をお詫びいたします。最後までお読みいただきありがとうございます。